

6月5日(火)今日は追分駅 10:00 出発、四日市市役所、朝日町役場、桑名市役所を訪問、
17:00 終了予定。20人程度でスタートしたが、最後は十数人

桑名市役所は職員 50 人が、部長を先頭に出迎え、16:30 行進団 十数人が到着、すでに 20 人ほどが玄関に出て待っておられた。保健福祉部長が歓迎の挨拶を下さるころには、約 50 人にふくれあがった。

「税と社会保障の一体改革」など、いいはずがない、市民から見れば歓迎することはない。と国政に関する批判的挨拶。くれぐれも体に気お付けてください。

永井団長が返礼の挨拶、50人の職員の出迎えに、感動し、涙がこぼれそうになった。

朝日町長、田代兼二郎氏から 10,000 円の募金。

今日訪問した自治体、四日市、川越、朝日町、桑名市は全て、丁寧な対応でとてもうれしかった。唯一トップが顔を出してくれた、田代朝日町長は

「国の言う税と社会保障改革」などといっても、マユにツバ付けて聞かないといかん。私、後期高齢者医療制度のとき、委員だったので、反対の意見を表明したのですが、その場がちょっと混乱状態になり、議論が一時ストップしたんですよ、など披瀝しはりました。

この町は人口 9000 人、人口が増えているとのこと。

玄関にヘチマの苗置き、自由にお持ち帰りください。張り紙がしてありました。

首長として始めてくれはった 1 万円の募金、押し頂くように頂戴しました。

四日市市役所で昼食後、庁舎内の喫茶「ふれあい」で障害者の作品の展示があり兵庫の柘上さんが、知人への土産として 7 点購入、行進についての話が弾んで、原発問題まで話題に。

お店の女性が、出発しようとしている私たちのところに、小走りでやってきて、柘上さんに「どうぞ受取ってください」と 1000 円のカンパを渡してくれた。

チャリンコに乗った 3 人ずれの若者に、四日市市役所の近くで、「東京まで歩いています」と声をかけたら、「エッ、ほんとに」とびっくり、「がんばってください」と大声で走り去った。

三重県本部 西村事務局長

訪問した自治体、四日市市役所、川越町役場、朝日町役場、桑名市役所、これまで、自治体に要求書を提出したことのない支部もあるが、この際、自治体申し入れをすることにした。

宿舎 すし清のお上さん

もう信じない、民主の裏切りに怒り心頭。客の寝タバコで全館焼失という苦境の中、再建したというおかみさん。小泉、竹中のころから特に経営が苦しく深刻になってきた。打開してくれるかと民主党に投票したが、もうだまされない。消費税引き上げられたら、私のところのような、小規模経営は廃業せざるを得ない。皆さんの団体があるのも知らなかった。及ばずながら応援させていただく。と意気投合。ちなみに、この地は岡田副総理の地元。

さらに三重県内を 3 日間行進した柘上政子さんの感想もあります、次号のお楽しみ。 以上